

西日本新聞社 出前授業のご案内



西日本新聞社は、新聞記者経験のある社員を中心に地元小、中、高校の要請に応じて無償で派遣する出前授業を行っています。

平成20年の学習指導要領改訂以降、新聞の学習教材としての有効性が認識され、小学校は23年度、中学校は24年度、高校では25年度以降、授業での新聞の活用が進められています。次期学習指導要領の改訂においても読解力、要約力の養成や社会性豊かな青少年の育成などに新聞の活用の必要性が増しており、出前授業は、**新聞活用がより効果的な学習**となるよう支援するのが目的で行っています。

授業内容は、学習に役立つよう新聞の読み方、書き方、作り方、キャリア教育の一環として、新聞記者の仕事などをお話しします。授業実施前にはご要望などをお聞きしますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

出前授業の受講生には新聞をやさしく解説し、授業にも役立つ新聞ハンドブック「今日の新聞読んだ？」(右写真)や「春秋書き写しノートお試し版」などをプレゼントします。

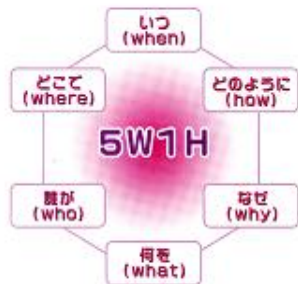
〒810-8721 福岡市中央区天神1-4-1
西日本新聞社子どもふれあい本部 nie@nishinippon-np.jp
電話 092(711)5558 FAX 092(711)5553



☆小・中・高校でゲストティーチャーとして出前授業を行います

① 「新聞の読み方」

関連教科等：国語科、社会科



家庭や学校、会社などへ毎日、届く新聞。政治、経済、スポーツ、文化など様々なニュースを見やすく編集して発行しています。授業では「1面」をはじめ「社会面」「経済面」など新聞の構成や新聞記事の特徴(見出し、リード文など)を解説します。また複数の新聞を読み比べるときに役立つよう書き手である記者のものの見方や論理の展開、工夫など、実体験を基にお話しします。

「新聞は文字ばかりで難しい」と子どもたちからよく聞きます。見方を変えれば、いろいろな長さの記事(文章)でできているといえます。原稿用紙の半分(200字)から、5枚(2,000字)くらいまで。新聞を読み慣れることは、長い文章に対する苦手意識がなくなることもつながります。

② 「新聞の作り方」

関連教科等：国語科、社会科、総合学習

国語科や社会科などで「まとめ学習」として行われる「新聞作り」。
新聞記事・文章の特徴(5W1H、「要点先述」の逆三角形の書き方など)をはじめ、記者の経験をまじえて記事を書くコツを解説します。
そして「書く」ことから、続けて新聞を「作る」ために必要なもの(写真、見出しなど)を一緒に考えながら、作り方をわかりやすくお話しします。
社会科見学や修学旅行などへ出発する前に、どういう視点を持つことで新聞がまとめやすくなるかなどのアドバイスを行うことも可能です。



③ まわしよみ新聞

＜総合学習＞

興味を持った記事を切り抜き、それを話題にしながら画用紙に貼りつけるワークショップ「まわしよみ新聞」。新聞をみんなで読み、語り合えば、自分の関心のない世界にも目が向き、コミュニケーションが深まります。読む、切る、話すというアナログ的な手順で記事をかみ砕き、情報がしっかり自分の中に吸収されます。

「PIN(プレー・イン・ニューズペーパー＝新聞で遊ぼう)」の感覚で取り組んでみましょう。



④ 新聞記者はどんな仕事？

＜社会人講話・キャリア講座＞

現在、西日本新聞社には取材、編集、写真記者など、約380人の記者がいます。西日本新聞で働く現役の新聞記者(男性、女性)、写真記者が日頃の仕事ぶりをお話しします。西日本新聞社の多くの記者は地元・九州の出身者です。九州に根差した記者たちが幼い時からどんな思いで記者を志望し、現在、働いているのか？記者としてうれしかったことや辛かったことなど、ニュースを追いかけている彼らが生の声でお話しします。

⑤ 主権者教育 小学・中学・高校 <総合学習>

公職選挙法の改正で選挙権年齢が「20歳以上」から「18歳以上」に引き下げられました。

2022年4月からは成人年齢が18歳に引き下げられます。

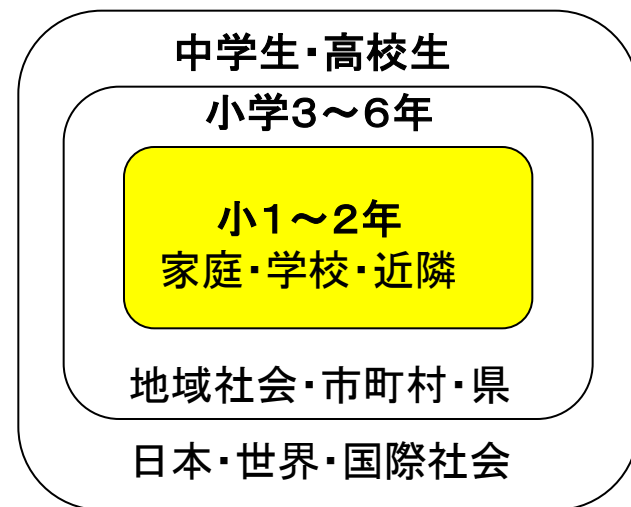
まもなく主権者、成人となる中学・高校生には、社会・政治に対するリテラシー（判断力）が求められてきます。

選挙の仕組みや歴史などを解説するとともに、社会・政治を知り、判断基準を得るのに役立つ媒体＝新聞をどう役立てるのか、関連記事などを基に「役立つ新聞の読み方」を解説します。

**「子どもの成長に伴って、取り巻く社会は
広がっていきます」**



社会を知るのに役立つ教材＝新聞



⑥ 先生方の新聞を活用する授業の研修会や教育講演会などとして、 出前授業も行います

☆授業では、新聞ができるまでをまとめたDVD（約12分）の放映も可能です

☆上記は基本例であり、科目や要望をお聞きして授業を行います。お気軽にご相談下さい

出前授業 申込書 (No.)

| | |
|------------------|----------------------------------|
| ■申込日 | 令和 年 月 日 |
| ■実施場所 | 学校名 |
| | ご住所 |
| | 電話 |
| ■実施希望日時 | 第1希望 年 月 日 時 分～ 分間 |
| | 第2希望 年 月 日 時 分～ 分間 |
| | 第3希望 年 月 日 時 分～ 分間 |
| ■実施責任者 | 学校長のお名前 |
| | 担当者のお名前 |
| | 学年 () 年 () 組 人数 () 人 |
| | 携帯電話 () |
| | メールアドレス |
| ■実施目的や内容に対する希望など | 例)「新聞の読み方」「作り方」「記者の仕事について」を希望... |